

# 可児市の公共交通について

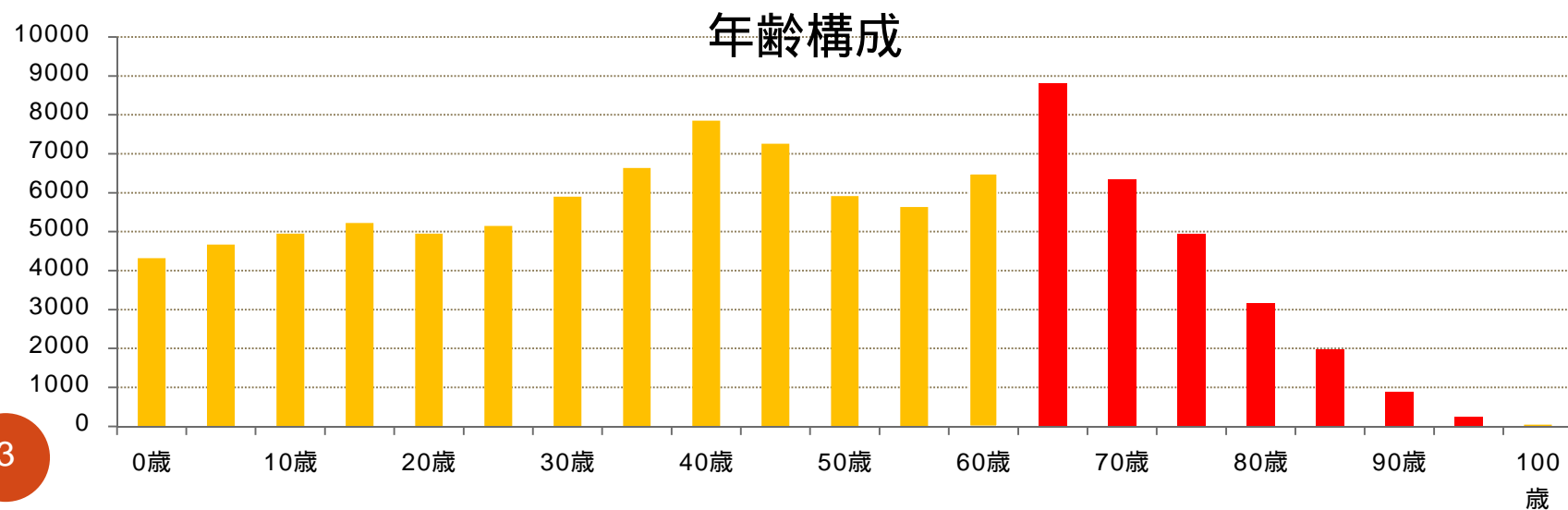
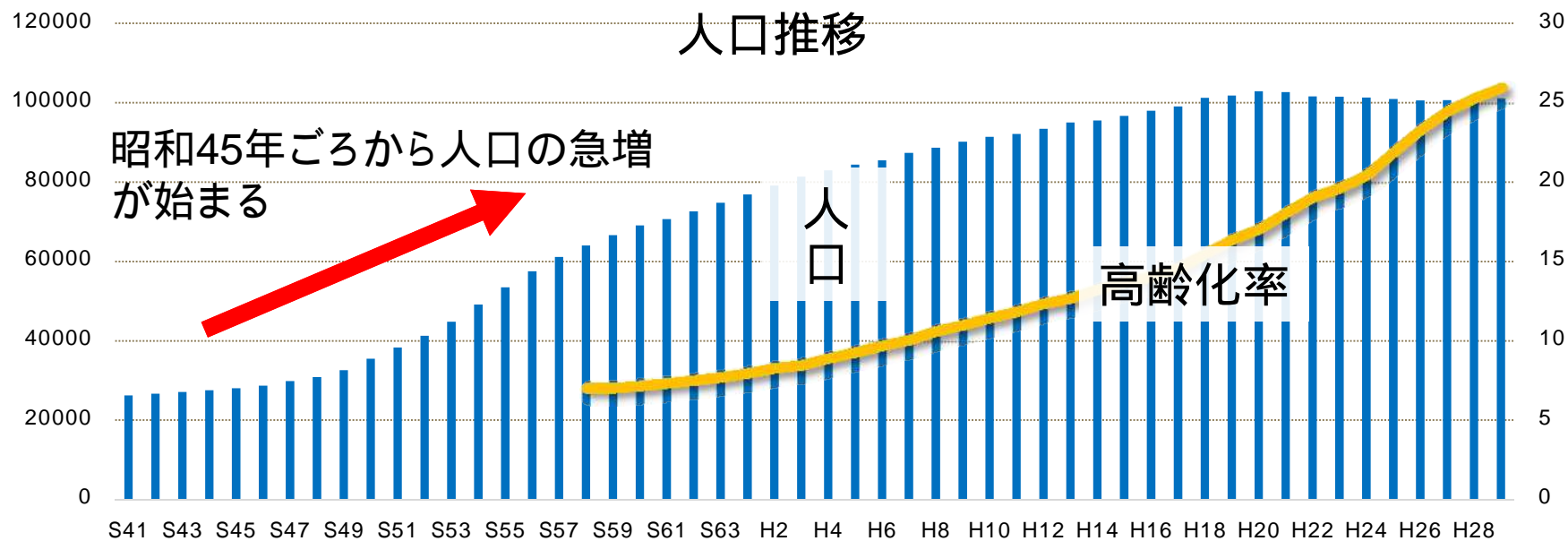
# 可児市の概要およびあゆみ

人口	101,292 人 (H30.4.1)
世帯数	41,490 世帯
面積	87.57 km <sup>2</sup>

年代	人口	世帯数
昭和30年	23,587	4,340
昭和40年	26,244	5,284
昭和50年	35,500	8,358
平成元年	76,881	20,995
平成10年	91,401	29,072
平成20年	102,858	37,973
平成25年	100,932	38,860
平成30年	101,292	41,085

昭和30年	可児郡西部7町村が合併 「可児町」発足(人口2万5663人)
57年	「可児市」市制施行 (人口6万1157人)
平成12年	さつきバス運行開始
17年	可児郡兼山町と合併。 人口10万人突破
22年	「電話で予約バス」運行開始
30年	日曜日・祝日運行 「お出かけしよKar」運行開始

# 可児市の人口推移と年齢構成



# 可児市の公共交通

---

# 可児市について

---

# 鉄道

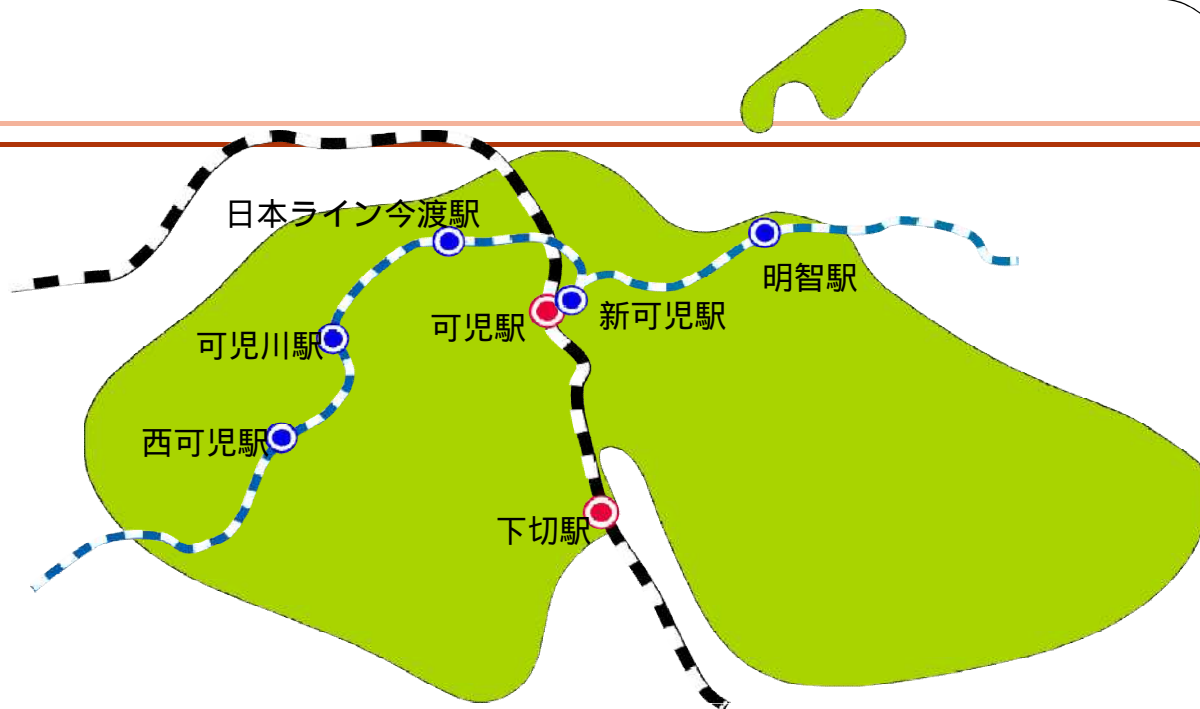
## JR 太多線

(多治見駅～美濃太田駅間)

市内駅：可児駅、下切駅

運行時間：5時～24時

運行間隔：概ね2本/時



## 名古屋鉄道 広見線

(犬山駅～新可児駅～御嵩駅間)

市内駅：西可児駅、可児川駅、

日本ライン今渡駅、

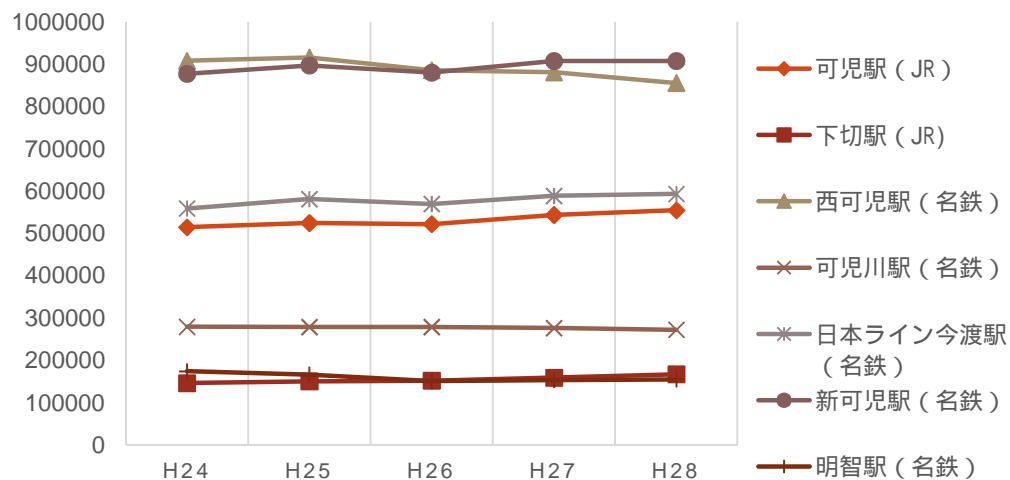
新可児駅、明智駅

運行時間等：5時～24時

運行間隔：4本/時(犬山駅～新可児駅間)

2本/時(新可児駅～御嵩駅間)

### 駅別乗車人数



# 民間バス路線

## 東濃鉄道

### 【路線バス】

可児駅起点

- ・緑ヶ丘線
- ・八百津線
- ・花フェスタ記念公園線(季節運行)

西可児駅起点

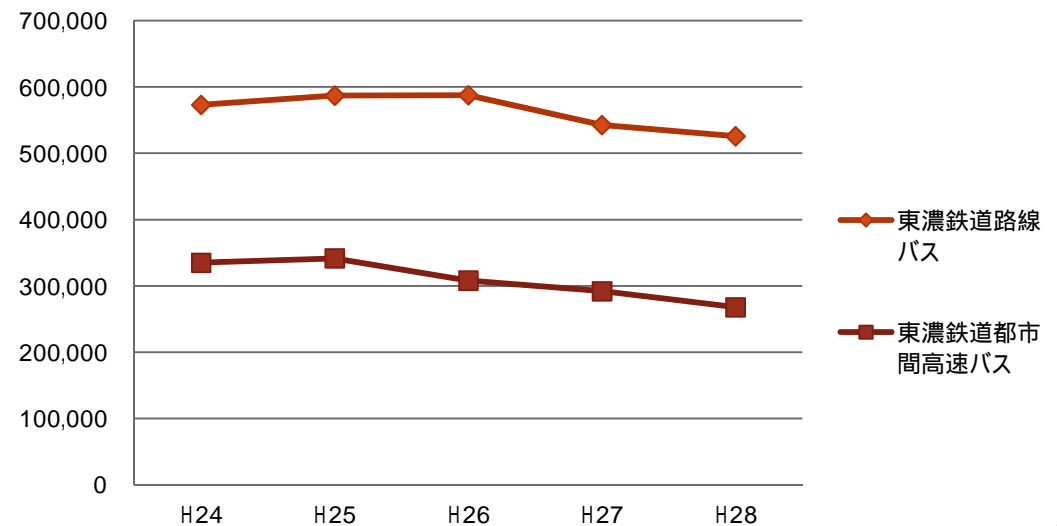
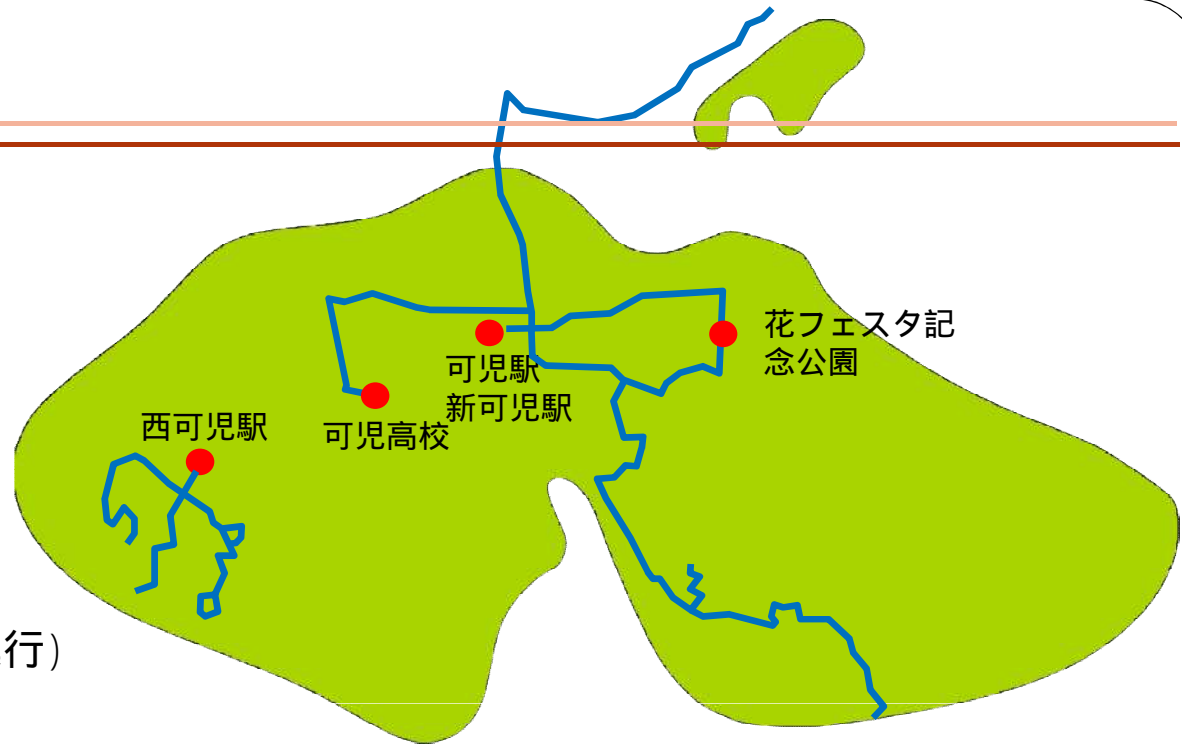
- ・帷子線(3系統)

多治見駅起点

- ・桜ヶ丘ハイツ線

### 【都市間高速バス】

- ・中央ライナー可児号(新宿駅行)
- ・桜ヶ丘ハイツ～名古屋線
- ・名古屋・西可児線



# コミュニティバス

## さつきバス (定時定路線)

- ・西部線
- ・東部線
- ・中心循環線
- ・桜ヶ丘線
- ・兼山線

## 電話で予約バス (デマンド)

可児駅、新可児駅と各地域を結ぶ  
区域運行。現在は7区域で運行。

## お出かけしよKar

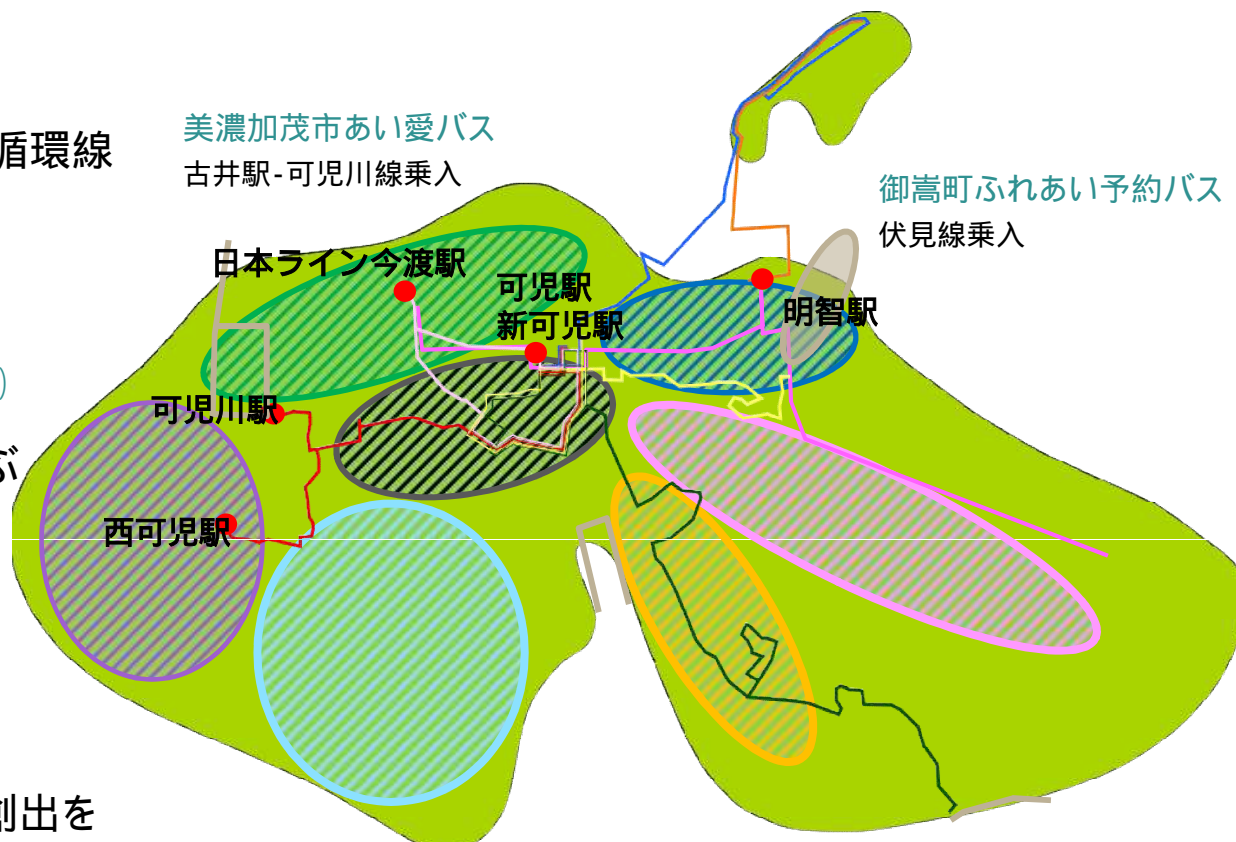
日曜日・祝日の市民の楽しみの創出を  
目的として、平成30年度より運行。

Kバス (定時定路線)

Kタク (区域運行) 7区域で運行  
の2種類がある。

美濃加茂市あい愛バス  
古井駅-可児川線乗入

御嵩町ふれあい予約バス  
伏見線乗入



多治見市ききょうバス  
姫大針ルート乗入  
笠原南・市之倉・脇之島ルート乗入

## YAOバス (定時定路線)

名鉄八百津線廃線の代替バスとして  
八百津町、御嵩町との3市町共同で運行



# 今後の公共交通の 在り方について

---

# 計画について

## 可児市生活交通ネットワーク計画

平成25年6月に当協議会において策定

目標：誰もが安心して移動できる公共交通ネットワークの構築

基本方針1：人の暮らしとまちの活性化を支援・誘導する公共交通体系

基本方針2：誰もが利用しやすい公共交通体系

基本方針3：持続可能な公共交通体系

計画期間：平成25年6月から30年5月までの5箇年



## 地域公共交通網形成計画

平成26年11月20日施行「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」

### 地域公共交通に求められる役割

- ・ 地域住民の移動手段の確保
- ・ コンパクトシティの実現
- ・ まちのにぎわいの創出や健康増進
- ・ 人の交流の活発化



まちづくり・観光振興等の地域戦略と一体となり、  
住みやすく、活力に満ちた地域社会の実現に向け、  
地域公共交通の再編を進める必要がある